



富山県西部森林組合 大鋸屋機械整備庫

・ 訓練棟



富山県西部森林組合 訓練施設
富山県南砺市大谷島160-1

アクセス
お車で
JR城端駅より 8 分 (4.5km)



富山県西部森林組合
〒939-1732
富山県南砺市荒木1230番地
TEL：0763-52-0670

趣旨

林業における労働災害はチェーンソー作業に関係する労働災害が最も多く、死亡災害では約6割に達しています。また機械保全においては、定期的な点検やメンテナンスによって機械の状態を把握し、必要な修繕や調整を行うことで、生産能力を最大限に引き出すことが求められています。このため、機械整備庫・訓練棟を活用し、迅速な機械整備をはじめ、チェーンソーの基本作業並びに機械保全の技術向上を目的としたトレーニングを実施し、人材育成プログラムの拡充を図る必要があります。

目指すべき姿

- 機械の整備、定期的なメンテナンスや予防修繕に必要な知識等を習得し、生産能力の最大化を目指します。
- チェーンソー基本作業に特化した訓練を行い、チェーンソーによる労働災害の防止に努めます。
- 組合の従業員並びに関係事業体を含めた訓練を実施することで、地域の林業技術の発展に貢献します。

施設概要

機械整備庫仕様

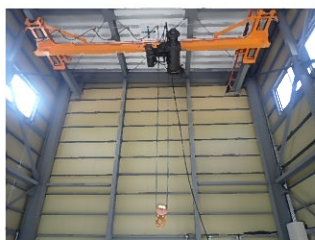
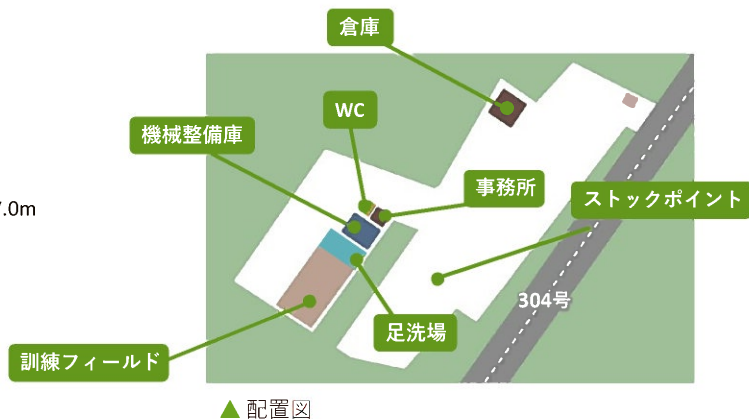
鉄骨構造
建築面積/87.59㎡
延床面積/87.59㎡
天井クレーン 2.8t×スパン7.0m
整備ピット

建設費

52,489千円

設備

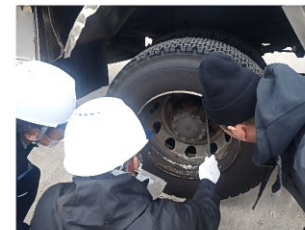
85インチモニター（移動式）
ユニットハウストイレ
中圧コンプレッサー（3.7kw 200V）
スチーム及び洗車機（200V）
60 t 電動門型油圧プレス（200V）
半自動溶接機（200V）
廃油ストーブ
切断機
工場扇
スポットクーラー



主な訓練

○ 機械整備庫

重機の構造・修理・メンテナンス



従業員自身が定期的な調査やメンテナンスによって機械の状態を把握し、必要な改善や調整を行う技術を習得します。

チェーンソー・刈払い機メンテナンス

チェーンソー・刈払い機等の構造や、普段のメンテナンス、修理の方法などを学びます。



大型モニター

大型モニターに作業者の手元を映すことで、大人数での同時訓練にも対応します。



○ 訓練フィールド

傾斜地での伐倒

実際の山林での作業では平地はほとんどなく、起伏にとんだ様々な地形で作業することになります。このため、10度・20度・30度と段階的に傾斜をつけた伐倒フィールドを設けることで、実際の現場を想定した伐倒訓練を行います。



合わせ切り

傾いた丸太を垂直に上下から切り出し、30～80mmの厚さに輪切りします。傾いた丸太を垂直に切る技術を習得します。



枝払い

丸太に差し込まれた30本の枝をスピーディーに切り落としていきます。枝を正確に払う技術が求められます。

